

# CASBEE® 戸建-新築

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE\_DH-NC\_2010v1.2

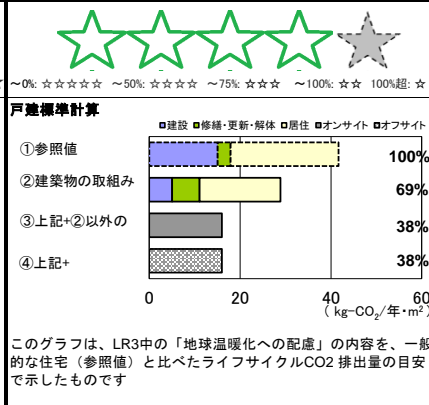
1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)晴美台62号地		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
竣工年月	2012年3月	予定	<備考>		
建設地	大阪府堺市南区晴美台1丁38番86				
用途地域	第1種中高層住居専用地域	確定	評価の実施日		
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	鉄骨造	確定	作成者		
階数	2階建て				
敷地面積	172 m <sup>2</sup>	仮	確認日		
建築面積	63 m <sup>2</sup>	確定			
延床面積	117 m <sup>2</sup>	確定	確認者		
世帯人数	4	確定			



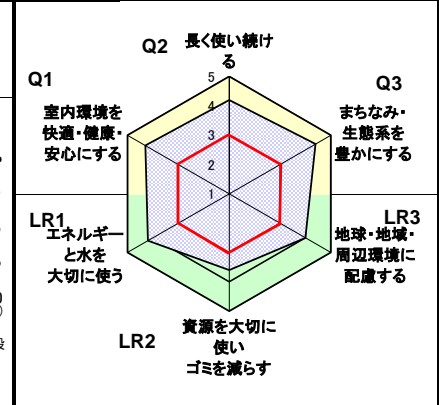
### 2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)



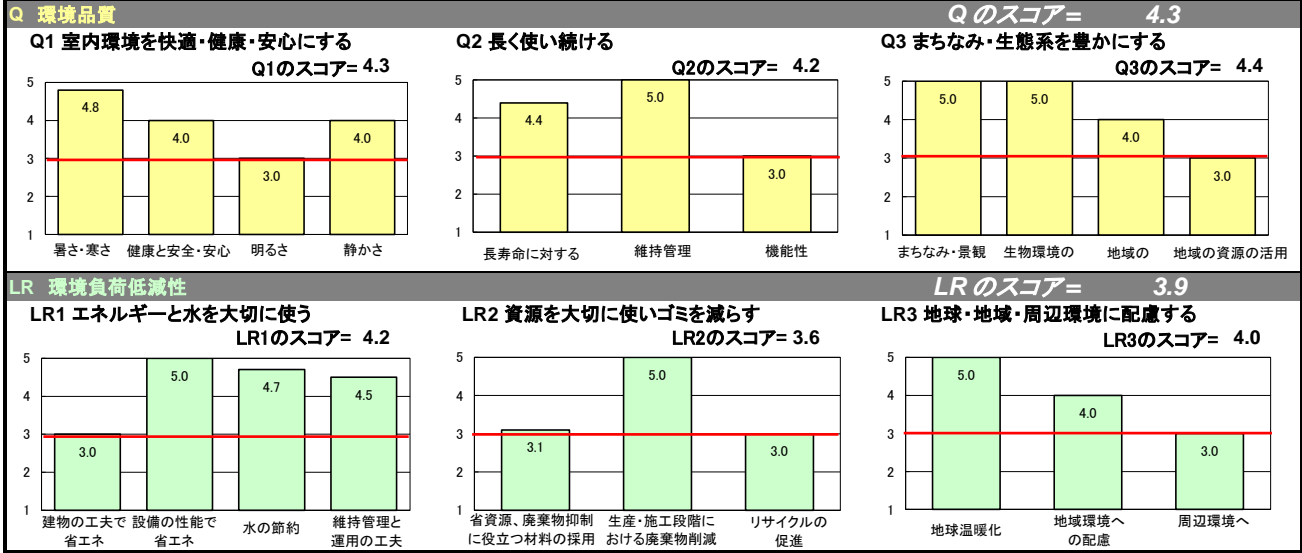
### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・太陽光による発電と断熱性能の強化等によりネットゼロエネルギー化を図っています。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする ・省エネルギー地域区分はIV地域ですが、Ⅲ地域対応の断熱仕様としています。 ・卓越風向を考慮した窓の設計を行っています。	Q2 長く使い続ける ・劣化対策、耐震、維持管理対策などの各項目で品確法上の最高等級としています。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする ・周辺地域の植生調査を行い、調査に基づいて植栽樹種の選定を行っています。 ・緑化率や舗装率に配慮しています。
LR1 エネルギーと水を大切に使う ・IV地域ですが、Ⅲ地域対応の断熱仕様としています。 ・エアコンの能力選定をシステム化しています。 ・給湯は燃料電池式、照明器具はLED用を除きLED、太陽光発電を採用。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす ・構造躯体を工場生産によりプレハブ化し、施工現場での廃材発生等を抑制しています。 ・施工現場で発生する廃材や余剰材を回収、再利用する仕組みを導入しています。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する ・雨水の地下浸透や地域自生種による植栽を行っています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)



1. 建物概要	建物名称	(仮称)晴美台62号地	晴美台小学校跡地に建設する住宅の一つ	
	建設地	堺市南区晴美台1丁38番86	敷地面積	171.6㎡
建築面積/延べ面積/指定建ぺい率		63.1㎡ /	117.1㎡ /	60.0%

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	5	
省エネ対策	5	
みどり・ヒートアイランド対策	5	
安全快適な暮らし	4	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE戸建(新築) 「LRH3-1」のスコアによる評価値	CO <sub>2</sub> に関する部分 の評価	5.0	5	
省エネ対策	評価項目		スコア	合計値	評価点
建物の断熱性による評価 CASBEE戸建(新築) 「LRH1-1 1.1」による評価	日本住宅性能表示基準 「5-1 省エネルギー対策等級」	等級4	4	5	5
設備の省エネルギー性による評価	高効率給湯器等の設置の有無	設置	1		
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	合計値	評価点
緑地内の緑化 CASBEE戸建(新築) 「QH3-2 2.1」による評価	緑地内の緑化を外構面積に対する 緑化面積の比率で評価する。	緑化面積の比率 63%	5	6	5
地表面被覆材に配慮し敷地外への 熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価	①敷地面積に対する舗装面積率 20% 未満 ②敷地面積に対する日射反射面積率 10% 以上	①舗装面積率 14% ②日射反射面積率 0%	1		
建築外装材料等に配慮し、敷地外 への熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価	①屋根面積に対する屋根緑化面積率 + 日射反射率又は長波放射率の 高い屋根材の面積率 20%以上 ②外壁面積に対する壁面緑化面積率 10% 以上	①対策を施した面積率 0% ②対策を施した面積率 0%	0		
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	合計値	評価点
バリアフリー対応による評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-3 3.2」による評価	日本住宅性能表示基準 「9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)」	等級1	1	6	4
自然災害に耐えることによる評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-1 1.4」による評価	日本住宅性能表示基準 「1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)」	等級3	3		
地域の安全・安心への対応による 評価 CASBEE戸建(新築) 「QH3-3」による評価	【評価する取組み】 (CASBEE戸建-新築マニュアル参照) ①敷地内の避難ルート・消火活動空間の確保 ②防火性の高い植物の植樹 ③地域の避難路の確保 ④見通しの確保 ⑤自住户や隣接住戸に侵入する足掛かりを 作らない配慮 ⑥その他の取組み		2つ	2	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
太陽光発電、蓄電池、HEMS、EVコンセントの導入	再生可能エネルギーの有効活用と見える化による省エネ行動の促進など。

### 特に配慮した事項

- ・『晴美台エコモデルタウン創出事業』の趣旨にのっとり、ネットゼロエネルギーハウスとして計画しています。
- ・当社独自の提案として蓄電池、HEMS等の先進技術の導入を図っています。